

風土と共生する地域づくり

～地域らしい建築の保全活用と新しいライフスタイルの創造～

趣 旨

この講演会では、持続可能な資源「木」を軸に、気候風土にあった建築、都市文化、さらに、森林資源の管理について考えたいと思います。

鉄やコンクリートに押され、戦後どんどん姿を消した伝統的な建物である町屋や古民家が、まちおこしやむらおこしの資源として、あるいは都市や集落の環境や景観を象徴するものとして脚光を浴びつつあります。

篠山市では、丹波篠山築城 400 年を契機に、「歴史文化まちづくり」が推進されており、地域課題に対する創造的な解決策を提供することで、我が国における農村の価値を再構築することを目的として、一般社団法人ノオトが設立されています。

本講演会では、ノオトが古民家再生・空き家活用の事業、新しい SATOYAMA づくり支援、ツーリズム事業などを展開する中で浮き彫りになった課題、町屋や古民家を住宅として使い続けるための課題を明らかにしながら、建築や生活の資源を生み出す森林などの土地利用のあり方や、これからのライフスタイルを探っていきます。

内 容

基調講演(40分)：ノオトが目指す「歴史文化・生活文化のまちづくり」

～古民家再生の価値・経済性・社会制度や融資制度などの壁～

講師 金野幸雄氏

一般社団法人ノオト代表理事、流通科学大学教授、前篠山市副市長

パネルディスカッション(120分)

小針剛氏(フリーカメラマン・町家倶楽部ネットワーク事務局長)

才本謙二氏(建築家・(有)才本建築事務所代表・NPO 法人町並み屋並み研究所)

相良育弥氏(萱葺職人・淡河かやぶき屋根保存会「くさかんむり」代表)

能口秀一氏(木材コーディネーター・(有)ウッズ代表・NPO 法人サウンドウッズ副代表)

八木雅夫氏(明石工業高等専門学校教授)

コーディネーター

根本敏行氏(静岡文化芸術大学教授)

開催要領

日 時：平成 24 年 1 月 29 日(日) 13:30～16:30 <12:00 開場。事前打合中>

場 所：丹南健康福祉センター(篠山市網掛 301 079-594-1117)

定 員：100 名(先着順)

参加費：一般 500 円、学会員無料

(学会員の方は必ず、会員証を当日ご持参下さい。)

申込方法：学会 HP (<http://www.cpij-kansai.jp/>) にある参加申込みフォーム、または FAX(06-6949-1925)にて、所属・氏名(ふりがな)、連絡先、会員・非会員の別を入力・記載の上、1月25日(水)までに申込んで下さい。

注)この講演会は「都市計画 CPD」認定プログラム(予定)です。



会場アクセス

篠山口駅から徒歩でお越しの場合

東側駅前広場から約 25 分（2000m 弱）

篠山口駅から神姫バスでお越しの場合

西側駅前広場から「篠山市立図書館前～篠山営業所」行きに乗車。

「福祉センター前」で下車。

13:07 発 13:14 着 12:37 発 12:44 着（概ね 30 分ごと） 片道 160 円

篠山口駅（東側駅前広場）からレンタサイクルでお越しの場合

一日のレンタサイクル料（電動アシスト自転車 800 円・普通自転車 500 円）

申し込み・問合せ先：篠山観光案内所（駅舎 2 階西端、079-552-3380）

自動車でお越しの場合

丹南篠山口 IC の北東約 500m。駐車場（収容 150 台）あり。

会場周辺の地図（この URL でご覧ください）

<http://maps.loco.yahoo.co.jp/print?lat=35.06638762592341&lon=135.18427047570412&z=19&mode=map&pointer=on&datum=wgs&fa=ks&home=on&hlat=35.06643592367395&hlon=135.18412563641706&layout=&ei=utf-8&p=&type=scroll&v=2&q=>

参考情報

前日の 1 月 28 日に篠山市内で以下の催しがあります。

第 9 回 丹波篠山冬の味覚 いのしし祭

<http://tourism.sasayama.jp/2012/01/post-79.html>

古民家再生体験ワークショップ

～古民家を、お洒落なイタリア家庭料理のお店へ～

<http://plus-note.jp/session/invite/post-8.html>